



二度と白衣を戦場の血で汚さない

かがやけ！

憲法ニュースNo.10

日本医労連憲法平和対策委員会

2014年6月18日

憲法破壊許すな！

日比谷野外音楽堂で5000人が集会



政府が集団的自衛権行使を容認する閣議決定案を示した17日、東京・日比谷野外音楽堂で「閣議決定で『戦争する国』にするな！大集会」が開かれました。会場に入りきれない人も含め5000人が参加、「戦争反対、9条壊すな！」と怒りの声をあげました。



東京医労連など、日本医労連の仲間も多数参加。集会後、参加者は国会と銀座に向けてデモ行進を行ないました。

す す め 平 和 行 進

【北海道↓東京】

★5月10日 旭川花咲運動公園から旭川市役所までの3キロ超を80名で元気よく行進。途中「原発いらぬい♪」など、いつものシュプレにリズムや、「いいね！」のコール。市役所前で集結集会を行い、市内中心部で街頭署名宣伝行動。8筆を越える署名と2千円近い募金が寄せられるなど活気に満ちていました。
*道北勤医労

★5月22日 行進では手を振り返してくれたたり、声援を送ってくれたり、とても嬉しい気持ちになりました。こういう活動がいつか実を結ぶのだと信じています。
*北海道勤医労

★6月9日 7日に青森から引き継がれた平和行進。8日午後1時に、二戸市の「石切所公民館」を出発。夕方に盛岡医療生協「さわやかクリニック」に到着。小雨でしたが、傘

の出番はありませんでした。
*岩手県医療局

【東京↓広島】
★5月16日 熱海までの沿道は海岸線で初島がよく見えます。熱海市街では、多くの方が店先まで出て、手を振って応援してくれました。行進を通して募金も1万8千円あまり集まりました。
*静岡医民連

★5月22日 雨が降ったり止んだりして少し大変でした。自衛隊の人が基地内で一緒に歩いていました。見張っていたのか、参加したいのか？後者であって欲しいです。
*静岡民医労

★5月31日 親子で毎回参加している方に会い豊橋の介護施設で働く100人の女性でした。職場の悩みを聞き、増員署名の協力もお願いできました。
*全医労豊橋



★6月4日 東浦では町長さんが挨拶に来てくれました。ずっと歌を唄いながら楽しく歩きました。医労連の旗も、もっと平和のメッセージが全面に出るといいなと思いました。
*南医療生協

【沖縄↓福岡↓広島】
★6月8日 昨日から奄美の平和行進が始まっています。昨日は徳之島、今日は笠利町で出発集会を行い、ただいま行進中。梅雨とは思えない青空。午後からも頑張ります。
*奄美医療生協

★6月10日 岩手盛岡・県公会堂前発。
*岩手医労連



基地がないのが当たり前

5月30日～6月1日に日本医労連第24回平和ツアーin沖縄が開催されました。5全国10県からガイド含め51名が参加しました。

平和ツアーin沖縄

嘉数高台から見る普天間基地とオスプレイ

宜野湾市・嘉数高台から、普天間基地と、基地を囲み立ち並ぶ住宅を見学。嘉数高台は、第二次世界大戦時に激戦地になった場所で、トーチカのあとが残っています。昨年と同ツアーと比べオスプレイの数は明らかに増えており、複数のオスプレイが頭上を通りすぎていきました。

沖縄国際大学から「道の駅かでな」へ

嘉数高台から、嘉手納基地見学のために「安保の見える丘」とも呼ばれる「道の駅かでな」に。道中、2004年にヘリが墜落した沖縄国際大学の横を通過、いまでも墜落した跡が残っています。

辺野古と平和祈念公園

二日目、沖縄県北部の辺野古へ移動。普天間基地の移設候補地として挙げられ、それに反対する人々が座り込みを行っています。一行は、ここで座り込みを続けている方たちから話を伺い、共に座り込みを行いました。続いて、平和祈念公園へ移動。ここでは、慰霊塔や平和の火・平和の礎などを見学します。また、平和祈念資料館で、写真パネルをはじめ、沖縄戦体験者の証言文や翌日に見学するガマのジオラマを見学しました。



平和記念資料館で不発弾を見学する参加者

糸数壕（アブチラガマ）とひめゆり資料館

三日目は沖縄戦当時、陸軍病院の分室となっていたアブチラガマです。ガマの中には、病棟やカマド・治療室などの表示があり、ガイドの説明を受けながら見学を行いました。続いて一行は、ひめゆり平和祈念資料館に向かいます。ここは、戦時中、看護要員として動員されたひめゆり学徒隊の資料が多数展示されています。物資が不足し、厳しい戦いの中で沖縄は本土決戦への準備のため、降伏許されませんでした。そういった厳しい環境下で、いったいどのような医療が提供できたか？アブチラガマとひめゆり資料館を通して、戦争の恐ろしさを学びました。

参加者の感想から

ツアーの参加者からは、「沖縄の町と基地の近さに驚いた。とても日常とは考えられないことがおきていると思った。」「戦争は二度と起こさないよう行動していくことが、人間として生きていくためには当たり前だと感じた。」などの感想がよせられました。



辺野古を守るテントの前で